⑩日本国特許庁(JP)

平2-204566 図 公 開 特 許 公 報 (A)

到Int. Cl. 5 E 04 F

4:3763

識別記号

庁内整理番号

四公開 平成2年(1990)8月14日

13/14 13/08

103 F 101 D

7023-2E 7023-2E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

会発明の名称 壁パネルの取付構造

> ②持 顧 平1-25200

題 平1(1989)2月2日 (23)出

個発 明 者 猪 野 達 雄 大阪府大阪市東区本町 4 丁目27番地 株式会社竹中工務店 大阪本店内 何発 明 奢 玉 敏 男 大阪府大阪市東区本町 4 丁目 27 番地 株式会社竹中工務店 萩

大阪本店内

個発 明 者 村 武 大阪府大阪市東区本町 4 丁目27番地 株式会社竹中工務店 吉

大阪本店内

勿出 顔 人 株式会社竹中工務店 大阪府大阪市東区本町 4 丁目27番地

個代 理 人 弁理士 北村

明 細

1 発明の名称 壁パネルの取付構造

2 特許情求の範囲

壁パネル(P) の下端側および上端側の夫々に 取付具(1),(1')を装着し、下地(B) に、前記取 付具(1),(1')のうち下端側又は上端側の一方の 取付具(I又は1')を前記下地(B) に対して遠近 方向で位置規制した状態で支持する固定具(2) と、他方の取付具(1'又は1)の下地(8)に対す る遠近方向位置を規制する状態にその他方の取 付具(1'又は1)に係止する係止具(2')とを固定 してある壁パネルの取付構造であって、前記固 ・定具(2) に対する一方の取付具(1又は1') の下 地面に沿った横方向移動および前記係止異(2') に対する他方の取付具(1'又は1)の下地面に沿 った横方向移動のうちの一方を規制する移動規 制手段と他方の横方向移動を許容する移動許容 手段とを設けてある壁パネルの取付構造。

3 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、セラミックパネルや石材、セメン、 ト系等の成型パネル、ガラス質パネル等の各種 壁パネルを下地に取付けるための構造に関する。 詳しくは、壁パネルの下端側および上端側の夫 々に取付異を装着し、下地に、前記取付具のう ち下端側又は上端側の一方の取付具を前記下地 に対して遠近方向で位置規制した状態で支持す る固定具と、他方の取付具の下地に対する遠近 方向位置を規制する状態にその他方の取付具に 保止する係止具とを固定してある壁パネルの取 付構造に関する。

(従来の技術)

従来の壁パネルの取付構造では、第5図に示 すように、壁パネル(P) の下端部および上端部 に装着したダポピン利用の取付具(1),(1')と、 固定真(2) および係止具(2')を兼用するように 下地(8) に固定した金具(3) に固着していた。 また、第8図に示すように、固定具(2) および 係止異(2')を兼用するように下地(B) に固定し

た金具(3) に対して、前記両取付具(1),(1')を 下地面に沿った横方向に摺動自在に構成した構 逸も知られている。

(発明が解決しようとする課題)

ところが、前述じた従来の取付構造によると きは、壁パネルの取付対象となる建物が高層建 物や鉄骨構造の建物等で、地震や風等で建物の 層間変位が生じる場合に次のような欠点が生じ ていた。

つまり、前者の取付構造では、上端倒および 下端側の取付具がともに下地に固定の固定具および係止異に対して下地面に沿った機方向位置 を規制されているため、建物の層間変位が生じ た場合、両取付具に層間変位による水平方向の 移動力が静に伝達され、その結果、壁パネルの 取付具装着箇所に大なる応力が作用する。従っ で、特に、壁パネルがセラミックパネルや ガラス質パネル、セメント系等の成形パネル等 で、取付具が壁パネルの前面に露出することを 防止して装飾性を向上するために取付具を壁パ

は、前記固定具に対する一方の取付具の下地面 に沿った横方向移動および前記係止異に対する 他方の取付具の下地面に沿った横方向移動のう ちの一方を規制する移動規制手段と他方の横方 向移動を許容する移動許容手段とを段けてある 点にある。

[作用]

ネルの増面に係合させることで装着する形式で あると、前記の応力によって壁パネルの取付具 装着箇所が欠損し、最悪の場合、そのために落 下するといった事故が生じることがある。

他方、後者の取付構造では、層間変位が生じた場合、取付具が固定具および係止異に対して 楼方向に摺動することで下地から取付具への水 平力の伝達が阻止又は抑制されるため、繋がれの取付具装着箇所に応力が作用することが抗力が作用することが抗力の取付具の摺動が作用することが抗り、取付は抑制できるものの、取付はの各壁パネルの下地に対する横方向の移動量に差が生じ易いの移力を強力で降合う壁パネルの縦方向で降合う壁パネルの縦目地幅が変化し、建物壁全体として見た場合、縦は地域や位置が不撤いとなって建物壁の外観が悪くなるのである。

本発明の目的は、上述した従来欠点を解消する点にある。

(課題を解決するための手段)

本発明による壁パネルの取付構造の特徴構成

前者取付具を対象とする繋パネルの取付具装着 部に作用する応力が発生しない。もちろん、後 者取付具を対象とする壁パネルの取付具装着部 には、後者取付異が係止異又は固定異に対して 機方向移動することで応力は発生しない。しか も、前者取付異の固定異又は係止異に対する機 方向移動が規制されているため、壁パネルの下 地に対する機方向位置を一定化できる。

(発明の効果)

従って、本発明によれば、層間変位に起因して生じる壁パネルの取付具装着箇所への大きな 応力発生を防止して、壁パネルがセラミックパ ネルや石材、ガラス質パネル、セメント系等の 成形パネルであっても、その取付具装着箇所が 欠損することを防止して取付けを確実化でき、 しかも、目地を常に揃えることができるように なった。

〔実施例〕

次に本発明の実施例を示す。

建物の外装を構成するに、第3図に示すよう

に、複数の壁パネル(P) を上下、左右の碁盤目 状に並置して下地(B) に取付ける。

前記壁パネル(P) は、セラミックパネルや石 材、ガラス質パネル、セメント系等の成形パネ ル等である。

前記壁パネル(P)の取付構造は、第1図ない し第4図に示すように、壁パネル(P)の下端部 及び上端部の夫々に左右一対づつ取付具(1), (I')を装着し、下地(B)に、下端側の取付具(1) に対する固定具(2)と上端側の取付具(I')に対 する係止具(2')とを固定して構成してある。

前記下端側の取付具(1)は、前記壁パネル(P)の裏面に接着剤(4)で接着して壁パネル(P)の下地(B)側への近接移動を阻止するための接当板部(IA)と、壁パネル(P)の下端面に形成のスリット(S)に係合して壁パネル(P)の下地(B)に対する遠近方向の移動を阻止するための係合板部(1B)とを、前記壁パネル(P)の下端面のうちスリット(S)と裏面との間に位置する部分を載置支持するための載置板部(1C)で連結し、前

記挟当板部(1A)の上下中間部に、その接当板部(1A)とで固定具(2)を下方から登込ませる凹部(5)を形成するL字形板部(1D)を連結した構造に構成されたアルミニウムの押出成形品である。尚、前記スリット(S)内には、係合板部(1B)を接着する機能と緩衝機能とを育する樹脂(6)(エポキシ等)が充填されている。

前記上端側の取付具(1')は、前記下端側の取付具(1)を上下反転したものであり、係合板部(1B')が壁パネル(P)の上端面に形成のスリット(S')に係合するように取付けられている。

また、前記盤パネル(P) の下端面および上端面のうち、スリット(S),(S')と裏面との間に位置する部分は、それに接当する載置板部(IC),(IC')の下面、上面を壁パネル(P)の下端面、上端面と面一に位置させるように凹入形成されている。つまり、取付具(1),(1')は、壁パネル(P)への取付状態において壁パネル(P)の外邦内に位置するようになっている。

前記固定具(2) は、下端側取付具(1) の接当

板部(IA)とL字形板部(ID)との間の凹部(5) に下方から差込んでその下端側の取付具(1) を下地(B) に対して遠近方向で位置規制した状態で横方向に摺動自在に載置支持するものである。

前記係止具(2')は、上端側の取付具(1')の接当板部(1A')とL字形板部(ID')との間の凹部(5')に上方から差込んでその上端側の取付具(1')の下地(B)に対する遠近方向位置を規制するものである。

かつ、前記固定具(2)と係止具(2')とのうち、上下で脾合う壁パネル(P)の上側のものに対する固定具(2)と下側のものに対する係止具(2')とは、1つの下地金具として一体化されてアンカーボルト(7)で下地(B)に取付けられている。前記下地金具は、前記アンカーボルト(7)で下地(B)に取付けられる第1金具(3A)と、壁パネル(P)に対する固定部、係止部を備えた第2金具(3B)と、それら第1金具(3A)と第2金具(3B)とを固定連結するためのボルト・ナット(3C)とからなり、第1金具(3A)および第2金具(3B)の

そして、前記箇定具(2) に対する下端側の取付具(1) の横方向摺動を規制する摺動規制手段と、前記係止具(2')に対する上端側取付具(1')の横方向摺動を許容する摺動許容手段とを設けてある。

前記摺動規制手段は、下端側の取付異(1)の うちの左右一方に、固定具(2)に接当して固定 具(2)の左右一方への移動を阻止するボルト利 用のストッパー(8)を取付けるとともに、他方 の下端側の取付具(1)に、固定具(2)に接当し て固定具(2)の左右他方への移動を阻止するポルト利用のストッパー(8')を取付けて構成して ある。

前記摺動許容手段は、上端側の取付具(1')と 凹部(5')とを摺動自在に嵌合するレールと溝と に形成する手段である。

なお、前記壁パネル(P) の裏面のうち外周部

分には、FRP等の裏打(8) が施されている。 また、(10)は、下地金具の下地(B) に対する遠 近方向位置を調整するための樹脂モルタルである。

上記の実施例構成によれば、固定具(2) に対 して下端側の取付具(1) が撲方向で移動規制さ れる一方、係止異(2')に対して上端側の取付異 (1')が横方向で移動自在であるため、層間変位 が生じた場合、強パネル(P) は、係止具(2')か ら水平力を受けず、固定具(2) と一体に移動す ることになる。そして、壁パネル(P) が固定具 (2)と一体移動する豚の移動抵抗は壁パネル(P) の重量によるものとなるため、下端側の取付具 (1) に対する壁パネル(P) の取付具装着箇所に 作用する応力は小さい。もちろん、上端側の取 付具(l')に対する壁パネル(P) の取付具装着簡 所に作用する応力は極めて小さい。従って、層 間変位に起因して、壁パネル(P) の取付具装着 箇所が欠損することを抑制できる。しかも、そ れでいて、壁パネル(P) が下地(B) と一体に移

- [3] 上記実施例では、壁パネル(P)に取付具(1), (1')を係合と接着とにより固定するようにしたが、固定手段は接着のみによる手段であっても良い。
- [4]上記実施例では、壁パネル(P)に取付具(1),
 (1')を係合させる手段として、取付具(1),
 (1')に、壁パネル(P) に形成のスリット(6),
 (6')に係合する係合板部(1B),(1B')を具備させたが、その係合手段としては、壁パネル(P)側にダボ穴を、かつ、取付具(1),(1')側にダボピンを具備させる手段であっても良い。
- [5] 壁パネル(P) の上端側および下端側の取付 具(1),(1')の数は遺宜変更可能である。
- [6] 上記実施例では、固定具(2) と係止具(2') とを1つの金具をもって兼用したが、もちろん、固定具(2) を係止異(2')とは下地(B) に各別に固定される別体であっても良い。また、前記金具は出入を関整できないものであっても良い。
- [7] 上記実施例では、取付具(1),(1')として、

動するため、層間変位に起因した壁パネル(P)の下地(B)に対する位置ずれがない。その結果、壁パネル(P)の凝目地の幅、位置が不変で、建物外袋を凝目地の揃った体裁の良いものにできる。

〔別実施例〕

以下、本発明の別実施例を示す。

- [1] 上記実施例では、取付具(1)、(1')における 戦置板部(10)、(10')の下面、上面が上下で脾 合う壁パネル(P) 間の費目地に突出しないこ とを利用して、目地処理を行なわないように したが、第2図中の二点鏡線で示すように、 横目地に目地材(11)を充填しても良い。この 場合、縦目地にも目地材(11)を充填する。
- [2]上記実施例では、壁パネル(P)の下端部を 載置支持するようにしたが、本発明は、壁パ ネル(P)の上端部を吊下げ支持しても良い。 この場合、固定具(2)は上端側の取付具(1') に、保止具(2')は下端部側の取付具(1)に失 々作用させることになる。

アルミニウムの押出成形品を示したが、取付異(1),(1')は、扱金物等であっても良い。

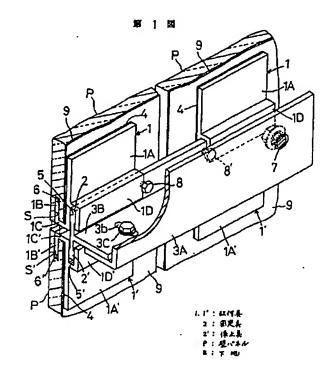
- [8] 前記裏打ち(9) は、壁パネル(P) の裏面全面に施しても良く、あるいは外周部の一部に施しても良い。
- [9]上紀実施例では、移動規制手段として、固定具(2)に対する一方の取付具(1)の移動を規制するものを示したが、移動規制手段としては、係止具(2')に対する他方の取付具(1')の移動を規制するものであっても良い。もちろん、この場合は、移動許容手段が、固定具(2)に対する一方の取付具(1)の移動を許容するものとなる。
- [10] 上記実施例では、移動規制手段をボルト(8), (8')から構成したが、移動規制手段としては、 取付具(1又は1')に、固定具(2)又は係止具 (2')に係合するストッパ部を一体に速設する 等して構成されたものであっても良い。
- [11] 尚、特許請求の範囲の項に図面との対照を 便利にする為に符号を記すが、該記入により

本発明は添付図面の構造に限定されるものではない。

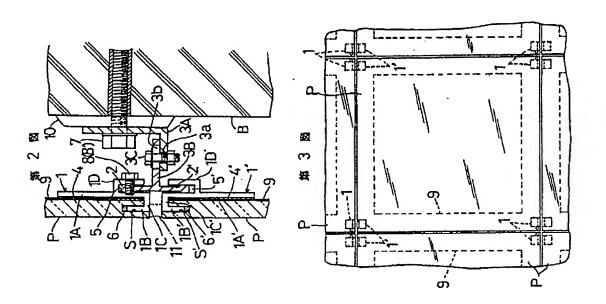
4 図面の簡単な説明

第1図乃至第4図は本発明の実施例を示し、 第1図は要部の切欠き料視図、第2図は擬断側 面図、第3図は正面図、第4図は切欠き正面図 である。第5図、第6図は従来例を示す擬断側 面図である。

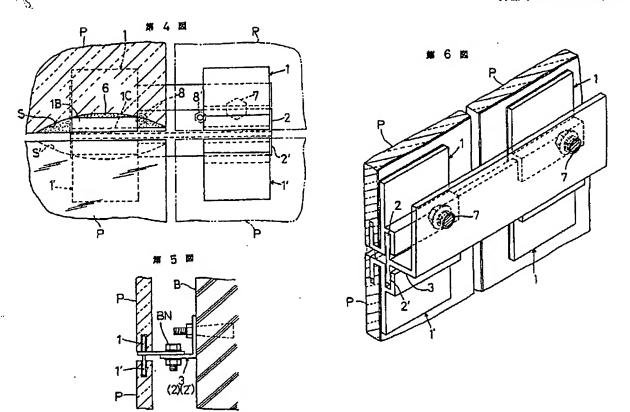
(1),(1')……取付具、(2)……固定具、(2')……保止異、(P)……壁パネル、(B)……下地。



代理人 弁理士 北 村 修



持ጠ平2-204566(8)



STRUCTURE FOR INSTALLING WALL PANEL

Patent number: JP2204566

Publication date: 1990-08-14

Inventor: INO TATSUO; TAMAKOSHI

TOSHIO; YOSHIMURA TAKESHI

Applicant: TAKENAKA KOMUTEN CO

Classification:

- international: E04F13/08; E04F13/14

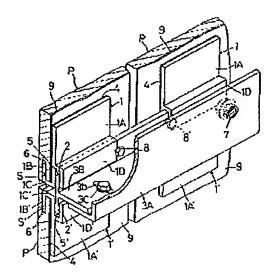
- european:

Application number: JP19890025200 19890202 Priority number(s): JP19890025200 19890202

Abstract of JP2204566

PURPOSE:To finely arrange

joints and prevent the generation of stress in an installing member installing portion by supporting the lower end side and upper end side of wall panels in a condition of restraining their positions in the far/ near direction and restricting the lateral movement of one side while permitting the lateral movement of the other side. CONSTITUTION:Installing members 1, 1, 1', 1' an installed on the upper end side and lower end side of wall panels P, P respectively, while providing a fixing member 2 for supporting one part of installing members 1. 1 so as to restrain their positions in the far/near direction with respect to a bed B. An engaging member 2' is engaged with the other part of installing members 1', 1' so as to restrain their positions in the far/near direction with respect to the bed B. One lateral movement out of the lateral movement along the base B face of the installing members



1, 1 with respect to the fixing member 2 and the lateral movement of the installing members 1', 1' with respect to the engaging member 2 is restrained while permitting the other. Thereby, the generating of stress in the installing portion of the installing members 1, 1, 1', 1' can be prevented while enabling joints to be arranged in an orderly way.

Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide